



酒井愛さん・望さんのプロフィール

酒井愛さん（写真上・姉）・望さん（写真下・妹）姉妹は、富山県出身で、平成26年10月から望さんが、平成27年3月から愛さんが、「地域おこし協力隊」として竹原市に移住されました。活動場所は主に小梨町で、産品開発や農業振興を中心に約3年間町おこしの活動を行いました。

現在お二人は「一般社団法人 産業振興支援センターおなし 福寿畑」を平成30年8月に立ち上げ、ご活躍されています。また、愛さんは竹原市役所の産業振興課農林水産振興係で勤務されています。竹原が大好きな仲の良い姉妹です！

竹原の「ここ」が魅力！

自分を受け入れてくれる町
綺麗な海と山に囲まれた町

愛さん 「地域おこし協力隊」として竹原に住み始めて、周りの人たちが自分を受け入れてくれる、関わってくれる優しさのあることが、この町の魅力だと感じています。

望さん 観光地なのに落ち着いた雰囲気があるところが好きです。それに豊かな海や山がありコンパクトなのに全てそろっている所に魅力を感じています。

平成30年3月まで「地域おこし協力隊」として小梨町を中心に活動されていた、酒井愛さん（以下愛さん）、酒井望さん（以下望さん）姉妹に今回取材をさせていただきました。

竹原に行きたいと思っただけじゃあ？

望さん…以前、他市の観光協会に勤めていた時に視察で色々な市町を巡る機会があって、その時に竹原の魅力に惚れこんで、竹原で仕事のできる「地域おこし協力隊」に応募しました。最初は農業の知識も無かったのですが、竹原で働けるなら！という勢いで。（笑）

愛さん…私は妹から「地域おこし協力隊」の誘いがあった時に、中学生のころから自給自足の生活に憧れがあったので、その夢が叶うかもしれないという思いがありました。

それに前職が介護の仕事に就いていたことも

あって、ご年配の方のために仕事ができるかもしれないという思いもありました。

今までの活動と思いについて

望さん…「地域おこし協力隊」では、農業や漁業の補助、特産品の開発など、色々な経験をさせていただきました。当時から活動の指針になっていた①産業振興②地域振興③環境教育を今も引き継いで活動しています。

小梨町の方から、笛を買い取らせていただき、笛の水煮を作って商品化した際には大変喜んでいただいたので、産品開発も続けていきたいです。

愛さん…高齢化の進む中で田んぼや畑を活用する担い手が少なくなっていて寂しいですね。本当は市外に出て行かれたお子さんたちに帰って来てほしいという地元の方の思いを感じます。

その思いに対して私たちができることは、今の

福寿畑の活動

お二人が昨年立ち上げた「産業振興支援センターおなし 福寿畑」の活動については、SNSやHPで活動を公開しています。下のQRコードからアクセスできます！



HP



Instagram

子供たちに竹原の自然や農業・漁業・林業に触れる機会を通じて、広く竹原の魅力に触れる機会を作ること、そして仕事を作ることだと思っています。そして、市外に出て行ったとしても帰ってきてもらえたらいいなと思います。